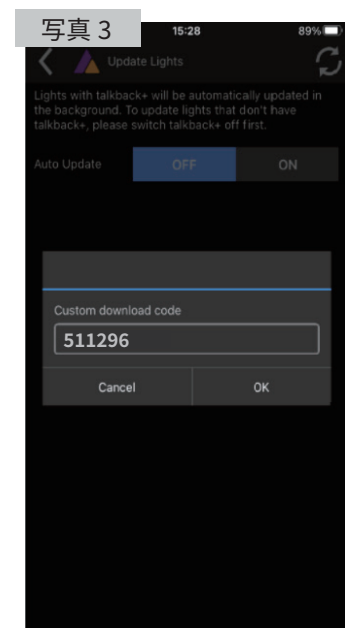
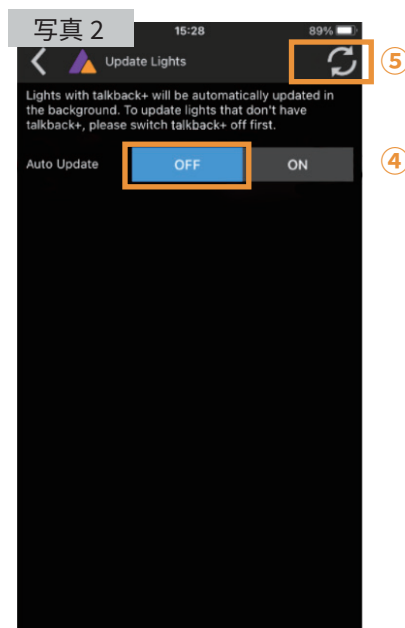
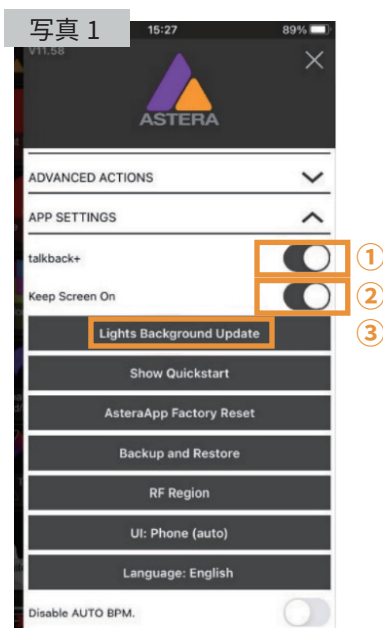


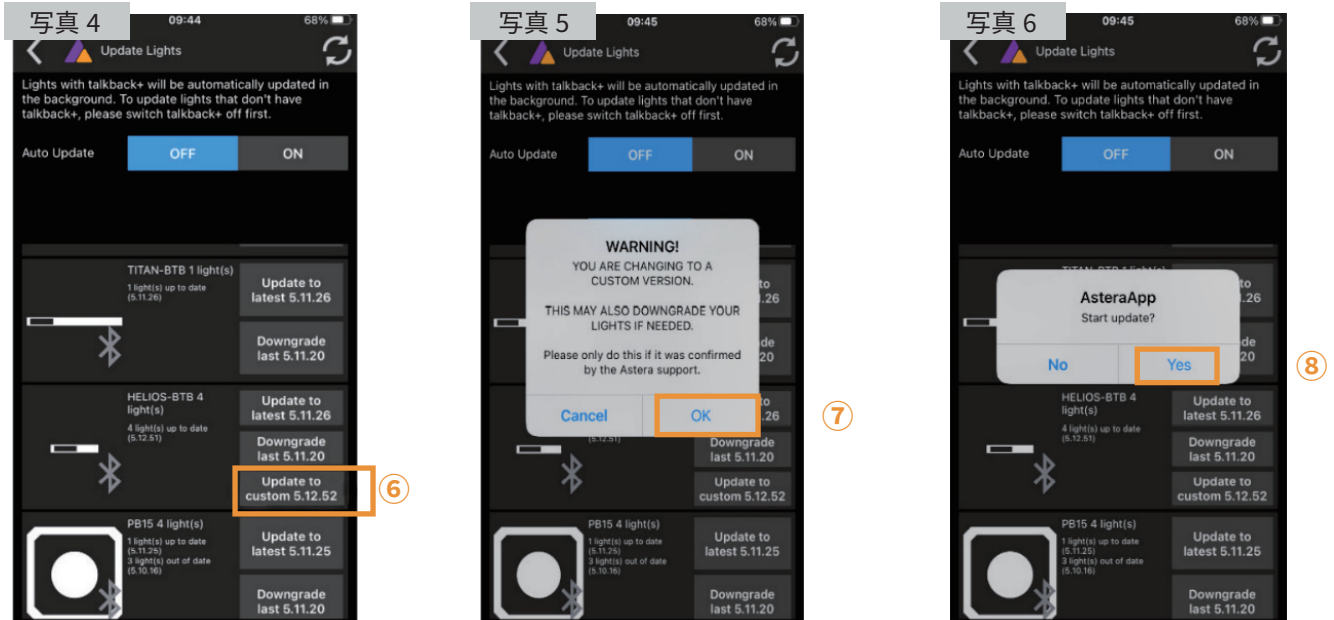
カスタムファームウェア (5.12.96) のダウンロードとインストール方法

現在、BTB 非搭載機器を CRMX で制御する際にチラつきが発生するバグが確認されております。このバグを修正するためのカスタムファームウェアが Astera 社より公開されましたのでご連絡いたします。このファームウェアでは、全てのバージョンのライトに関する既知のチラつき問題を修正したと考えています。アップデート方法は以下の手順になります。

1. アプリを ART7 で接続してください。通常通り、アップデートのために対象の灯体すべてを BlueMode にして “Pair with Lights” を選択してください。すべてのライトがペアリングされるのを待ちます。
2. 使用のデバイスが Wi-Fi かネットワークがある環境でインターネット接続されている必要があります。
3. App Settings を選択します。“TalkBack+” (①) と “Keep Screen On” (②) が ON になっていることを確認し、“Lights Background Update” (③) を選択してください。(写真 1)
4. Auto Update (④) が OFF になっていることを確認し、右上の Update ボタン (⑤) をポップアップが出てくるまで数秒間長押しします。(写真 2)
5. ポップアップが出たら、カスタムダウンロードコード：511296 を入力し、OK を選択します。その後、カスタムファームウェアがアプリにダウンロードされます (写真 3)。カスタムファームウェアのファイルは灯体の詳細データです。

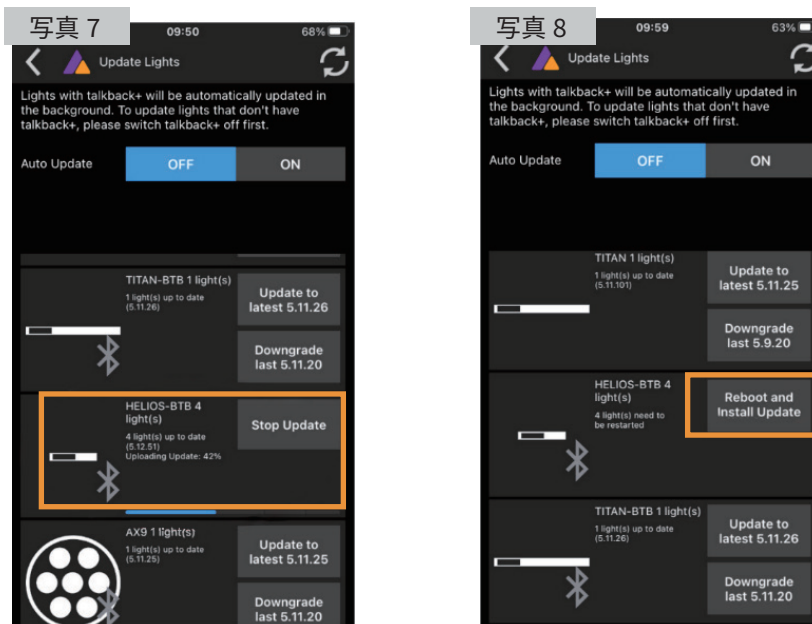


6. 灯体のファームウェアアップデートのオプションが一覧になって表示されます。希望の灯体のカスタムファームウェアを選択します (⑥) (写真 4)。
7. WARNING のポップアップが出たら “OK” を選択し (⑦)、“Yes” を選択 (⑧) してカスタムファームウェアの送信を開始します。(写真 5、6)



※実際の操作ではアップデートを行う灯体の custom 5.12.90 を選択します。

8. アップデートファイルの送信中はバーが表示されるため、データの送信状況が確認できます (写真 7)。データ送信が完了し、“Reboot and Install Update” と表記されたボタンが出ましたら、これを選択します (写真 8)。数秒後に灯体が自動的に消灯します。その後自動で再点灯し、新しいファームウェアがインストールされます。

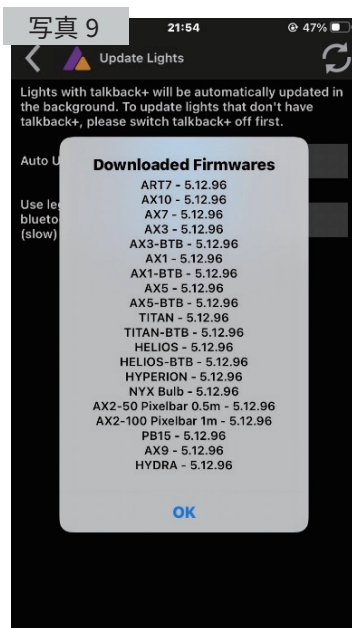


9. 灯体の充電を行ってください。

※インストールに失敗する場合はステップ 6 から再度実行してください。

この時、アップデートが終わった灯体の電源を切る方もいらっしゃいますが、実際にはその必要はありません。
カスタムアップデートを再度かける間にアップデートが終わった他の灯体に影響を及ぼすことはありません。

※CRMX 回線 (ART7(FW5.12.96) に) 接続した FP3(FW5.11.27) にも異常が見られなかったことから、
ART7 側の FW 更新が有効であると思われます。



※新しいファームウェアの対応機種です。